



家庭教育支援の充実（平成27年12月一般質問）

5番目の課題として、**家庭教育支援の充実**についてお伺いします。

家庭においても企業においても女性の力は絶対的に欠かせません。また、**女性の力を最大限発揮させ、子供の力を育むには家庭の力がいかに大きいか**という事を改めて強く思います。

家庭の力は、そこに住む家族の一人一人が作っていくわけです。振り返ってみますと、以前の日本では、三世代家族が当たり前でした。その家庭では、おじいちゃん、おばあちゃんは、子供を見守りながら家を守り、また子供に人として生きる道や生きる術を教えるという役割を担い、その中で子供は、早寝早起き朝ごはん等の基本的な生活習慣をはじめ、食育や礼儀作法、社会のルールを身に付けていけるわけです。そして、両親は子供を守ってくれる人がいるので安心して外で働くことができるという好循環の中で、家庭の形を作ってきました。

世代間で助け合うことによるメリットは大きいものがあります。またこのメリットに期待をして、全国には、三世代同居に対し、家の改修費用や引っ越し代などの補助をする自治体も増えてまいりました。

勤務先や学校の関係、また、住宅事情などにより、望んでも無理な場合もあろうと思いますが、できることであれば、この**三世代同居・近居によって、家庭の力で、温かい子育て環境ができていけば**と期待しています。

しかしながら、近年は、核家族化が進行し、人と人との関係の希薄化や家庭や地域の教育力の低下が指摘されており、子供たちを心豊かにたくましく育てるために、学校・家庭・地域の連携を深めていくことが求められています。

現在、文科省では、家庭と地域と学校をつなぐ家庭教育支援チームの取組を進めておられ、全国には数多くの事例があります。また、**熊本県**においては、**家庭教育支援条例**を制定し、家庭の力を付けることによって、子供を育てることの大切さを社会に啓発しています。

この支援条例の第1条には、保護者が親として学び成長していくこと、および子供が将来親になることについての学びを促すことが目的であると規定されています。まさに、今を生きる私たちには次の世代を育成する大きな責務があると思います。

家庭は教育の原点であり、出発点であると思います。

三つ子の魂百までを旨とし、次代を担う子供を育てるためには、家庭教育が大切であると考えます。

そこで、お尋ねいたします。

今後、家庭教育支援の充実を図るべきであると考えますが、ご所見をお伺いします。

< 浅原司教育長 答弁 >

家庭教育支援の充実についてのお尋ねにお答えいたします。

少子化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化等により、親が身近な人から子育てを学ぶ機会が減少するなど、全ての教育の出発点である家庭教育を支える環境が大きく変化する中、家庭教育支援の充実は重要な課題であると認識しております。

県教委においては、このような認識に立って、市町教委と連携しながら、「家庭の元気応援キャンペーン」等の家庭教育に関する意識啓発・情報提供をはじめ、「家庭教育出前講座」の開催による保護者への学習機会の提供、家庭教育に関する相談や支援に当たることのできる「家庭教育アドバイザー」の養成、「子どもと親のサポートセンター」による専門的な相談・支援などの施策を推進しているところです。

しかしながら、近年、子育て家庭を社会全体で支える必要性がますます高まっておりますことから、今後は、これまでの取組の成果と課題を踏まえ、中学校区単位で築いてきた学校・家庭・地域のネットワークである「地域協育ネット」や、これまで養成してきた「家庭教育アドバイザー」等の地域人材を活用しながら、支援が届きにくい家庭に対しても支援が届けられるよう、取組の更なる充実を図っていきたいと考えております。

具体的には、家庭教育に不安や悩みを抱えている保護者が、その地域で気軽に支援が受けられるよう、市町教委との連携の下、「家庭教育アドバイザー」等の多様な地域人材を中心に、きめ細かな活動を組織的に行う「家庭教育支援チーム」の編成を進めるとともに、このチームが、地域の関係機関・団体と連携しながら、保護者からの相談への日常的・継続的な対応や、保護者への学習機会の提供が可能となる環境の整備に努めてまいります。

また、地域とのつながりが希薄な家庭に対しては、このチームがスクールソーシャルワーカー等の専門人材や学校、福祉関係機関と連携し、訪問して支援を行うなど、課題を抱える様々な家庭に早期かつ適切な支援を届けることができる体制の整備を促進してまいります。

県教委といたしましては、今後とも市町教委と連携しながら、こうした取組を通じて全ての家庭に支援が届けられるよう、学校・家庭・地域の連携・協働による社会総がかりでの、家庭教育支援の充実積極的に取り組んでまいります。